

いなみ野の風

特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院
住 所 加古川市平岡町土山字川池423-2
TEL 078-941-1730
FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>
メールアドレス inamino@senreikai.org

いなみ野病院 院内・院外広報誌

編集：いなみ野病院 I M 広報委員会

「年頭所感」

いなみ野病院 院長 長谷川 和 男

平成26年の新年を迎え職員および関係者の方々に謹んでお慶びを申し上げます。さてデフレからの脱却と強い日本を復活させるというスローガンを掲げ、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略として、いわゆるアベノミクスを打ち出した安倍内閣は順調に動き出し、国民に大いに期待を与えたと思われま

す。しかし、その後はTPPへの参加、原発再稼働や福島第一原発の放射能汚染水の処理、憲法改正への布石、中国、韓国との外交関係の悪化、ひいてはシリアに始まる中東の政情不安などの難題が次々と噴出し始め支持率が徐々に低下する傾向もみられましたが、2020年の東京オリンピック招致成功でまた持ち直すという状況となりました。



特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します

とへの対応を行う必要があり、新年に入って実際にどのような経過を辿るかは少し冷静に見つめる必要があると思います。また外交的には突然、中国政府が沖縄県・尖閣諸島（中国名・釣魚島）を含む東シナ海上空に防空識別圏（ADIZ）を設定したことを受けて高まる中国との軍事的緊張の緩和に努めていかなければならないことも大きな課題となっております。

一方、我々の慢性期医療界においては急性期医療病院の在院日数が徐々に短縮されるに伴い、急性期治療を終えた患者を医療療養病床がある慢性期医療病院に移行させていくという傾向が強くなっております。この結果、慢性期医療は急性期もしくは亜急性期的な医療を加味しなければならないほど重要な役割を担う広い分野の医療となりつつあります。とくに団塊の世代が75歳以上となる2025

年（平成37年）頃にはますます慢性期医療の役割が増してくるでしょう。厚生労働省は、消費税増税の財源で高齢者医療制度をはじめとする医療保険制度や介護保険制度に対応していくと述べていますが、果たして社会福祉・医療の財源がどれだけ確保されるかは不透明でありますので、次々と保険制度の改革をせまってくると思われます。その結果、高齢化社会に対応する医療・看護・介護サービスなどに関する諸問題が噴出してくる可能性は高いと予想されます。このような状況下で、当院は平成30年3月末で廃止される介護療養病床の問題に適切に対応していくために、医療療養病床を60床から120床に増床する準備にとりかかっております。新年にあたりここに改めて、皆様の暖かいご支援・ご協力・ご理解を心からお願い申し上げます。

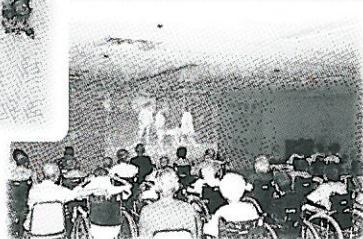
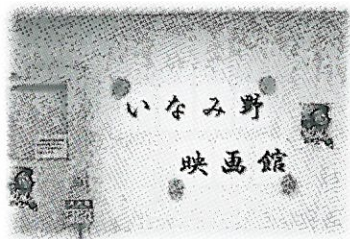
グリーンキャンペーン

平成25年10月11日（金）に病院内の敷地清掃を目的に「グリーンキャンペーン」を開催致しました。職員20名が参加し、院外美化に努めました。



映画鑑賞会

平成25年9月11日（水）に映画鑑賞会を実施致しました。患者様43名・ご家族様3名の参加がありました。人情物の映画を上映させていただいたのが良かったのか、笑いあり、涙あり、終始なごやかに進める事が出来ました。



2分間スピーチ

9月

リハビリ 松尾 蒼

私の実家は、九州でとても田舎です。田舎というところもあり、年齢問わず顔見知り、小さい頃は、よく自分からあいさつをし人と関わる事が多くありました。

実家を出て、都会に住むようになり、思春期ということもあったのか自分からあいさつをすることがはづかし回数が減っていき、友達や身近な方以外との関わりは少なくなってきました。

当院は、接遇に力を入れており、患者さんや家族、スタッフには必ずあいさつをしています。いなみ野病院に入社し、あいさつをすることが増え、習慣になっ

てきました。そのおかげで今では、近所の方に自分からあいさつをするようになり、人と関わる事が増えてきました。朝、近所のおじさんやおばさんに会うと「今日も1日頑張ってるね」と声をかけてくれます。その言葉を聞くと頑張ろうと思いつつも力をもらっています。

人との関わりから学ぶことは、人に対する思いやり、自分の感情の扱い方、機微を察した行動、より深い洞察とある雑誌に書いてありました。

今後、自分からあいさつをし人と多く関わることで自分を磨き、患者さんやスタッフの方と関わり、相手が少しでも元気になるようなあいさつができるようにしていきたいと思います。

11月

本館2階 山崎 桂子

家の前の道路は、小学校の通学路になっているのですが、交通量が多く危険なため、校長先生が登校指導にあたっておられます。毎日毎日雨の日も子供達に笑顔で「おはようございます」と声をかけています。

そして、子供達も、元気な声で、「おはようございます」と返しています。

私は、その光景を2階から見ているのですが、子供達の元気な声は、もちろんのこと校長先生の大きな声も届いてきます。見ているこちらまで、すがすがしい気持ちになります。

「あいさつ」とは「心を開いて相手に近づく」という意味だそうです。

人間関係を築く上で、大切なものと頭ではわかっていてもなかなか実行できない時もあります。笑顔で、相手の目を見て、明るいきな声で、自分から」を意識

12月

本館3階 片芝 克予

私の祖母の事をお話したいと思います。

祖母は三年半前九十五才で亡くなりましたが、九十才になるまで悠々自適に畑仕事やゲートボールをしながら一人暮らしをしていました。

九十才になった時、畑で転んでしまい人生で初めて入院をしました。それから、一年余りで4回、入院をくり返しました。大変気丈な性格でしたが、その頃から認知症が少しずつ進んでいました。最後の4回目の入院は大腿骨を折ってしまい手術をしました。リハビリの結果先生も驚く程ずいぶん良くになりました。

退院後は老人ホームに入所出来ることになりました。要介護4でした。

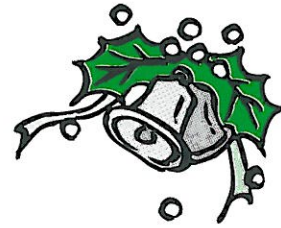
入所先では、しばらくは

識して行っているように思います。

じめず荷造りをし、いつでも帰れる用意をしていたそうです。徐々になんか楽しい生活を送っていた様に思います。私達が面会に行く度よろこんでいた顔は忘れられません。晩年よく口にしていたのが介護士さんや看護師さんがとてもよくしてくれるしやさしい、ここに来て本当に良かったと言っていました。よそへ行くのをあんなに嫌がっていたのに穏やかなやさしい人相になっていました。



☆ クリスマス会 ☆



平成25年12月20日に恒例のクリスマス会を実施しました。例年通り、午前と午後の2部構成で行い、患者様・ご家族様ともに多くの方に参加していただきました。

午前・午後の部ともに長谷川院長の「はじめの言葉」で幕を開けました。

午前の部は、ボランティアの琴伝流大正琴の和みの会様を初めてお招きすることができ、

大正琴の綺麗な音色で懐かしい曲をたくさん演奏していただきました。

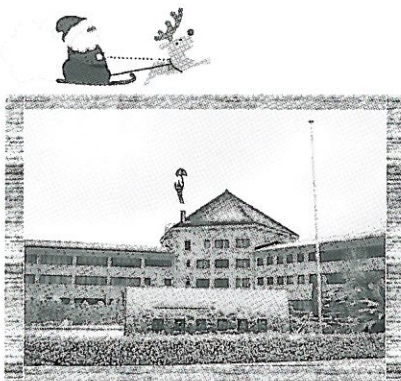
アンサンブルでのクリスマスソングからはじまり、童謡・唱歌・流行歌などから馴染みのある曲を選曲してくださいました。歌詞カードを配り、患者様・ご家族様も一緒に歌い、懐かしい曲を楽しむことができました。軍歌では、自ら立ち上がりマイクを持って歌ってくださる患者様もいて、大変盛り上がりしました。アンコールでは、東日本大震災の応援歌「花が咲く」を演奏していただきました。



午後の部は、当院の七夕会・クリスマス会でお馴染みのボランティア、鼓銭会様により民謡や太鼓などを披露していただきました。出し物は賑やかな花笠音頭からはじまり、太鼓合奏なども行ってくださいました。生の三味線や尺八の音色が会場中に響き、最後にはフルート演奏で「もみじ」と「雪」の合唱を行い、楽しい時間となりました。

午前・午後ともに出演があったのが、リハビリテーション課による「北海道旅行」でした。プロジェクターを使って映像を映し、釧路湿原のタンチョウヅルや北海道の景色を楽しむことができました。雪の中を走るSLの映像はととても迫力がありました。歌は「牧場の朝」と北海道

平成25年度クリスマス会 プログラム

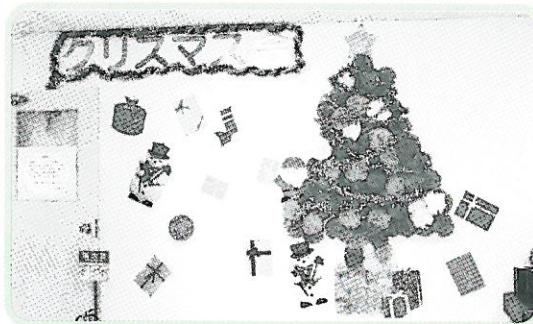


いなみ野病院 レクリエーション委員会



出身の松山千春さんの曲「太空と大地の中で」を歌い、大変好評でした。レクリエーション委員会からの出し物として、患者様と舞台に上がり、「たき火」「富士の山」を歌い、「赤鼻のトナカイ」を鈴やマラカスなどをもって合奏しました。今年、世界文化遺産に登録された富士の山は、患者様も皆よくご存じて大合唱となりました。

午前の部には、ミュージックベルの演奏も行いました。病棟職員・事務所などの職員で「もろびとこぞりて」と「We Wish A Merry Christmas」を演奏しました。練習時間が短く、不安いっぱいの中で本番を迎えましたが、無事成功し、ミュージックベルの綺麗な音色でクリスマスらしい雰囲気となりました。そして、午前・午後ともに、最後は「お正月」を全員で合唱し幕を閉じました。



平成25年の院内行事の締めくくりとなりましたが、盛大に盛り上がり楽しい時間となりました。多くの方のご参加、アンケートへのご協力、ありがとうございました。平成26年もより楽しい院内行事を開催していきたいと思います。今後とも、ご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。



～午後の部～

時 間：13:40～14:40

対象病棟：本館2階・本館3階

1. はじめの言葉

長谷川院長

2. 花笠音頭（太鼓）

鼓鼓会様全員

3. 関の五本松

高谷安子様

4. 浜海節

砂川イトエ様

5. 相馬盆唄、デカンショ節、北海道唄（太鼓合奏）

唄：中元利勝様

6. 合唱・合奏

レクリエーション委員会

たき火・富士の山
赤鼻のトナカイ

7. 黒田節

御前正一様

8. 真宝川音頭

小菊としえ様

9. 佐渡おけさ

中村久子様

10. 鹿兒島小原節

芝山きよ子様

11. ソーラン節（太鼓合奏）

唄：永江勝由様

12. もみじ・雪（童謡）

合唱

13. 北海道旅行

リハビリテーション課

14. 合唱

全員参加

お正月

15. おわりの言葉

看護部長

三味線・永江勝由様・中元利勝様 尺八・御前正一様
太鼓 鼓鼓会様

～午後の部～

時 間：10:00～10:50

対象病棟：本館1階・南館1階・南館2階

1. はじめの言葉

長谷川院長

2. 平仮名大正琴

和みの会ボランティアグループ

ホワイトクリスマス（アンサンブル）

あざみの歌・お宮さん・同様の板

赤城の子守唄・きよしこの夜・リンゴの唄

ジングルベル

3. 合唱・合奏

レクリエーション委員会

たき火・富士の山

赤鼻のトナカイ

4. ミュージックベル

事務・地域連携・病棟職員

もろびとこぞりて

We Wish You A Merry Christmas

5. 北海道旅行

リハビリテーション課

6. 合唱

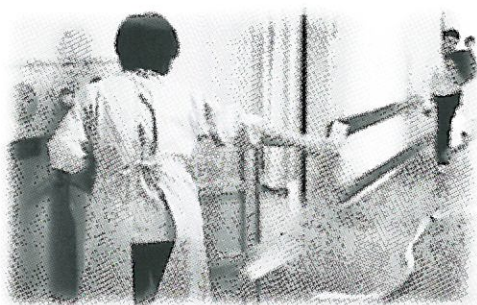
全員参加

お正月

7. おわりの言葉

南館1階 奥師長





11月28日(木)に本館1階病棟よりの出火想定にて消防訓練を実施しました。

参加者全員が非常に真剣に取り組まれ日頃の訓練の重要さを痛感致しました。

これから日頃から火事の起きないよう防火に努めて行きますのでよろしくお願い致します。

消

防

訓

練



ひなたぼっこ園児 プレゼント

太子福社会こども園「ひなたぼっこ」の園児から勤労感謝の日にプレゼントをいただきました。
上手にできてますね。



● ● ● 編集後記 ● ● ●

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございます。

今回の広報誌はクリスマス会の開催の関係で発行が少し遅れてしまいました。申し訳ありません。次回以降は発行時期に遅れる事のないよう取り組んで行きたいと思います。

本年が皆様にとって良い年となりますように。

いなみ野病院 概要

診療科目 内科、リハビリテーション科

病床種別 療養病床 290床

(医療保険 1病棟 60床)
(介護保険 4病棟 230床)

診療報酬上の施設基準

医療保険

療養病棟入院基本料 1

療養病棟療養環境加算 1

脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅱ)

運動器リハビリテーション(Ⅰ)

入院時食事療養(Ⅰ) ・栄養管理実施加算

薬剤管理指導料

介護保険

病院療養型 I型

夜間勤務条件基準 減算型

職員の欠員による減算の状況 なし

ユニットケア体制 対応不可

療養環境基準 基準型(3病棟)・減算型(1病棟)

医師の配置基準 基準

栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制

身体拘束廃止取組の有無 あり

特定診療費項目 薬剤管理指導

リハビリテーション提供体制

理学療法Ⅰ・作業療法・言語聴覚療法・その他